

## 1. 教育目標

肝臓、胆道、膵臓および消化管の急性・慢性障害の成因解明および障害臓器からの臓器再生法の開発などに必要な基礎知識および研究能力を身につける。臨床検体、動物モデルを用い、分子生物学的検討および遺伝子導入の手法などを利用して、臓器再生の研究を行う。

## 2. 到達目標

- (1) 臓器障害の病態に関する文献、情報を収集できる。
- (2) ヒト障害臓器を再現する動物モデルの作製計画を立てることができる。
- (3) 実験を具体的に計画できる。実験結果を正確かつ論理的にまとめることができる。

## 3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。研究成果の発表（70%）、課題におけるレポート提出（30%）

## 4. 教科書・参考書

Molecular biology of the cell (7th Ed) (参考書)

## 5. 準備学習

予習としては、関連文献を検索し、知識を整理して授業・実習に臨むこと。（1時間以上）  
復習としては、講義内容を整理し、ノートなどにまとめておくこと。（1時間程度）

## 6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

## (第1学年・昼間開講)

## 【臓器再生医学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	臓器再生医学総論	廣野主任教授 岡本助教	月曜/3限	通年	4	カンファレンスルーム
演習	研究経過の報告と外国文献の抄読	廣野主任教授 末岡臨床講師	水曜/3限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	動物実験モデルの作製	多田臨床准教授 藤助教	木曜/3・4 限	通年	4	手術センター および 病態研
実験 (臨床) 研究	臓器再生法の検討	岡本助教 藤助教 飯田助教	金曜/1・2 限	通年	4	手術センター および 第1研究室

## (第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
講義	外科腫瘍学 臓器移植、臓器障害の病態 腫瘍遺伝学	廣野主任教授 末岡臨床講師 岡本助教	水曜/6限	通年	4	第1 研究室
演習	研究経過の報告と外国文献の抄読	廣野主任教授 末岡臨床講師 岡本助教	水曜/7限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	動物実験モデルの作製	多田臨床准教授 末岡臨床講師	木曜/6・7 限	通年	4	病態研
実験 (臨床) 研究	遺伝子導入、遺伝子発現の解析	廣野主任教授 藤助教	金曜/6・7 限	通年	4	第2 研究室

## (第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過の報告と外国文献の抄読	末岡臨床講師	月曜/5限	通年	4	カンファレンス ルーム
実験 (臨床) 研究	分子生物学的手技	中村准教授	火曜/3・4 限	通年	4	手術センター および 第1研究室
実験 (臨床) 研究	外科手術手技 分子生物学的手技	廣野主任教授 栗本助教	水曜/1・2 限	通年	4	手術センター および 第1研究室

## (第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過の報告と外国文献の抄読	末岡臨床講師 藤助教	水曜/6限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	各種分子生物学的手技	中村准教授 岡本助教	木曜/6・7 限	通年	4	カンファレンスルーム
実験 (臨床) 研究	各種分子生物学的手技	廣野主任教授 多田臨床准教授	金曜/6・7 限	通年	4	カンファレンスルーム